

微分積分学 A・演習問題 2

(2011年6月9日配布・6月16日実施)

(担当：野村隆昭)

[1] 次の極限値を求めよ.

$$(1) \lim_{x \rightarrow \infty} (\sqrt{x^2 + 2x + 4} - \sqrt{x^2 + 4}) \quad (2) \lim_{x \rightarrow \infty} (\sqrt[3]{x^3 + x^2} - \sqrt[3]{x^3 - x^2})$$

[2] $x \rightarrow 0$ のとき, 以下を示せ.

$$(1) x^3 + x^4 = O(x^3) \quad (2) \frac{1}{1+x} - (1-x+x^2) = o(x^2)$$

[3] 次の方程式を解け.

$$(1) \cos^{-1}x = \tan^{-1}2 \quad (2) \sin^{-1}x + 2\sin^{-1}\frac{1}{4} = \frac{\pi}{2} \quad (3) \tan^{-1}x + 2\tan^{-1}\frac{1}{3} = \frac{\pi}{4}$$

[4] 次の等式を示せ.

$$(1) -1 \leq x < 1 \text{ のとき, } \sin^{-1}x = 2 \tan^{-1} \sqrt{\frac{1+x}{1-x}} - \frac{\pi}{2}$$

$$(2) x \geq 0 \text{ のとき, } \cos^{-1} \frac{1-x^2}{1+x^2} = 2 \tan^{-1}x$$

$$(3) x > 0 \text{ のとき, } \tan^{-1} \frac{1}{x} = \tan^{-1} \frac{1}{x+1} + \tan^{-1} \frac{1}{x^2+x+1}$$

[5] 次の式を証明せよ.

$$(1) \sinh^{-1}y = \log(y + \sqrt{1+y^2}) \quad (2) \cosh^{-1}y = \log(y + \sqrt{y^2-1})$$

$$(3) \tanh^{-1}y = \frac{1}{2} \log \frac{1+y}{1-y}$$

[6] 次の函数の導函数を求めよ.

$$(1) \frac{1}{2} \{x\sqrt{1+x^2} + \log(x + \sqrt{1+x^2})\} \quad (2) \log \left| \tan \frac{x}{2} \right| \quad (3) x^x \quad (x > 0)$$

[7] 次の函数の導函数を求めよ. ただし a は定数.

$$(1) \tan^{-1}\left(\frac{a}{x}\right) \quad (2) \frac{1}{2} \left(x\sqrt{a^2-x^2} + a^2 \sin^{-1}\left(\frac{x}{a}\right) \right) \quad (a > 0)$$

[8] 次の極限値を求めよ.

$$(1) \lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin^{-1}x}{\sinh x} \quad (2) \lim_{x \rightarrow 0} \frac{\tan^{-1}(\tanh(x^2))}{x^2}$$

裏面に続く

[9] $(-\infty, \infty)$ で定義された関数 $f(x)$ が, すべての実数 x, y に対して, $f(x+y) = f(x) + f(y)$ をみたし, しかも $x = 0$ で連続であるとする. このとき, $f(x)$ はすべての実数 x で連続であることを示せ.

[10] $(-\infty, \infty)$ で定義された関数 $f(x)$ が, すべての実数 x, y に対して, $f(x+y) = f(x)f(y)$ をみたし, しかも $x = 0$ で連続でかつ $f(0) \neq 0$ であるとする. このとき, $f(x)$ はすべての実数 x で連続であり, しかも $f(x) > 0$ であることを示せ.

[11] $f(x)$ は閉区間 $I = [0, 1]$ で連続な関数で, 任意の $x \in I$ に対して, $0 \leq f(x) \leq 1$ とする. このとき, $f(a) = \sin \frac{\pi a}{2}$ をみたす $a \in I$ が少なくとも1個存在することを示せ.